

## 執筆要領

### 1. 論文

(1) 日本語原稿：1)～3)を1ページ，4)を2ページ，5)を3ページ以降とし，6)は5)と区分する。なお，7)は後述のとおり1枚ずつ別葉とする。

- 1) 表題
- 2) 著者（ふりがな）・所属機関・所在地・連絡担当著者と連絡先
- 3) ランニングタイトル（日本語）
- 4) 要旨・キーワード（日本語）
- 5) 本文（はじめに，材料と方法，結果，考察などに原則として区分する）
- 6) 引用文献
- 7) 図，表および写真

(2) 英語原稿：1)～3)を1ページ，4)を2ページ，5)を3ページ以降とし，6)は5)と区分する。なお，7)は後述のとおり1枚ずつ別葉とする。

- 1) 表題
- 2) 著者・所属機関・所在地・連絡担当著者と連絡先
- 3) ランニングタイトル（英語）
- 4) 要旨・キーワード（英語）
- 5) 本文（Introduction, Materials and Methods, Results, Discussionなどに原則として区分する）
- 6) 引用文献
- 7) 図，表および写真

### 2. 資料，総説・解説およびその他

本文の区分などについては，必ずしも論文の形式に準じなくてもよい。

### 3. 用語等

- (1) 日本語原稿は，横書きとし，Wordで1ページあたりおおむね40字×25行で作成する。
- (2) 英語原稿は，Wordで1ページあたりおおむねアルファベット60字×25行で作成する。
- (3) 動物・植物等の日本名，外来語および原語によらない外国の地名・人名はカタカナとする。学名はイタリックとする。
- (4) 用語は，原則として文部省（文部科学省）編「学術用語集」に使われているものを用いる。
- (5) 単位は国際単位系（SI）を用いることが望ましい。

#### 4. 要旨・キーワード

- (1) 日本語要旨はおおむね 500 字以内に、英語要旨はおおむね 300 語以内にまとめる。
- (2) キーワードは日本語、英語とも 5 個以内とする。

#### 5. 引用文献

- (1) 引用文献は著者名のアルファベット順に記載し、本文の該当箇所に（著者，年号）または著者（年号）のように明示する。
- (2) 雑誌の場合は，著者（年号）：表題．雑誌名，巻または号（通巻ページでないものは巻号）：引用ページとする。
- (3) 単行本の場合は，著者（年号）：引用箇所表題．書名，編者名（編），引用ページ，発行所，所在地とする。

##### 引用文献の書き方（例）

文献は本文中に引用されたものすべてを記載する。雑誌名は原則として、省略しないで表記する。

##### (a) 雑誌

田中阿歌麿・星野隆一（1933）：択捉島湖沼踏査概況及其の湖沼形態，水の理化学的所見．陸水学雑誌，3：1-19.

Birge, E. A. and Juday, C. (1934) : Particulate and dissolved organic matter in inland lakes. *Ecological Monograph*, 4 : 440-474.

##### (b) 単行本

小林繁男（1993）：熱帯林土壌のせき悪化．熱帯林土壌，真下育久（編），280-333，勝美堂，東京．

Syrett, P. J. (1962) : Nitrogen assimilation. *Physiology and Biochemistry of Algae*, Lewin, R. A. (ed.) , 171-188 , Academic Press, New York.

#### 6. 図，表および写真

##### (1) 図（写真は図として取り扱う）

- 1) 図（写真）の題名および注は図（写真）の下に書く。
- 2) 図（写真）は 1 枚ごとに別葉とし，図（写真）番号の表示は，図 1. または Fig.1. のようにする。本文中で図（写真）番号を示すときも同様とする。
- 3) 図（写真）の挿入箇所は，原稿の該当位置の右欄外に図（写真）番号を朱書きして指定する。

##### (2) 表

- 1) 表の題名は表の上に，注は表の下にそれぞれ記載する。
- 2) 表は 1 枚ごとに別葉とし，表番号の表示は，表 1. または Table1. のようにする。本文中で表番号を示すときも同様とする。
- 3) 表の挿入箇所は，原稿の該当位置の右欄外に表番号を朱書きして指定する。